

2023 年度(令和 5 年度)

特別聴講学生募集要項

大学コンソーシアム関門

北九州市立大学
下関市立大学

九州共立大学
西日本工業大学

九州国際大学

大学コンソーシアム関門

特別聴講学生 募集案内

Contents

大学コンソーシアム関門 単位互換協定制度について

2023 年度開講科目

- ・ コーディネート科目「関門学」
- ・ 大学提供科目「現代の教養」

出願について

- ・ 出願資格
- ・ 出願方法と出願期間
- ・ 出願する前に確認しておきたいこと

履修許可について

- ・ 履修許可
- ・ 履修が許可されたら

科目の受講について

- ・ 講義会場までの通学について
- ・ 受講に際しての注意
- ・ 講義の欠席について
- ・ 受講に関する問い合わせについて
- ・ 休講、補講、教室変更などの通知

成績評価について

- ・ 評価について
- ・ 各科目の評価方法

問い合わせ先一覧

講義会場へのアクセス

講義概要

休講の取り扱いについて

大学コンソーシアム関門 単位互換協定制度について

「大学コンソーシアム関門」は、北九州、下関両市の高等教育機関が相互に連携・協力することにより、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献することを目的としています。

また、大学間で単位互換協定を締結したことで、学生は在学する大学以外の講義を「特別聴講学生」として受講することができます。修得した単位は所属する大学で認定されます。

単位互換協定参加大学に在学する大学生であれば受講することが可能です。出願料及び受講料は無料です（ただし、実習・演習の場合は実費を徴収することがあります）。受講を希望する学生は、所属大学の定める方法により所属大学へ出願してください。

2023 年度開講科目

コーディネート科目【関門学】 3科目

科目名	受講可能学年	科目提供大学	講義期間	会場
関門の自然環境とそのエネルギー	1年生以上	九州共立大学	8月19日（土）～8月23日（水） ※8月20日（日）も実施 10:40～16:10	A
北九州・下関地域の魅力ある企業団体を学ぶ	1～3年生	北九州市立大学	8月21日（月）～24日（木）	B
関門地域論	1年生以上	下関市立大学	9月4日（月）～9月8日（金） 10:40～16:20	C

大学提供科目【現代の教養】 3科目

科目名	受講可能学年	科目提供大学	講義期間	会場
課題解決演習 ～デザイン思考による課題解決～	1年生以上	西日本工業大学	8月17日（木）～8月20日（日） 10:40～17:50	D
地域課題研究	1～3年生	九州国際大学	9月2日（土）、9月4日（月）、 9月5日（火）、10月7日（土）、 10月14日（土）	E
経営入門	2～3年生	北九州市立大学	8月28日（月）～9月1日（金） 時間は講義概要を参照	F

講義会場：

A＝九州共立大学（北九州市八幡西区）

B＝北九州市及び下関市の各企業団体の施設 集合場所：JR小倉駅北口（予定）

C＝下関市立大学（下関市）

D＝西日本工業大学小倉キャンパス及び地域連携センター（北九州市小倉北区）

E＝九州国際大学地域連携センターサテライトキャンパス（コムシティ内）及び
黒崎商店街ほか（北九州市八幡西区）

F＝北九州市立大学ひびきのキャンパス（北九州市若松区）

出願について

●出願資格

単位互換協定参加大学に在学する大学生であれば出願することが可能です。単位互換協定参加大学に所属する交換学生も、所属大学の許可があれば本制度を利用して出願を行うことができます。

●出願方法と出願期間

出願は2023年4月に行います。履修を希望する学生は、所属大学によって出願方法と出願期間が異なりますので、詳細は、所属大学担当窓口で確認の上、手続きを行ってください。

●出願する前に確認しておきたいこと

- ★出願できる科目及び修得できる単位数は、所属大学において認められた単位数以内とします。詳細は所属大学担当窓口で確認してください。
- ★各自の修得単位や必修科目の修得状況を確認し、進級要件や卒業要件が不足しないように履修計画を立てた上で出願してください（特に、卒業年次生は注意が必要です）。
- ★評価の確定が年度末となるため、2023年9月卒業予定者は出願することはできません。
- ★講義会場までの通学時間を考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。
- ★科目によって、履修できる学年の指定が異なるので注意してください。

履修許可について

●履修許可

出願希望については科目提供大学が確認の上、結果については、所属大学を通じて、5月頃に出願者に通知します。なお、施設等の関係上、受け入れ人数には限りがあります。出願希望者が多数の場合、履修が許可されないこともありますのでご了承ください。

●履修が許可されたら

履修が許可された学生は、科目提供大学における「特別聴講学生」となります。履修許可後、所属大学によっては、履修登録等の手続きが必要となりますので、所属大学担当窓口で確認してください。

科目の受講について

●講義会場までの通学について

通学については公共の交通機関を利用してください。

●受講に際しての注意

受講の際には、必ず所属大学の「学生証」を携行してください。

●講義の欠席について

出欠をとる講義もあります。その場合は、講義担当教員の指示に従ってください。止むを得ず講義を欠席する場合、事前に欠席を届け出る必要はありません。

ただし、出席回数が評価に反映される科目もあります。

●受講に関する問い合わせについて

受講上の不明な点がある場合は、まず所属大学の担当窓口にご相談してください。

●休講、補講、教室変更などの通知

休講などのお知らせは、科目提供大学のホームページに掲載します(P.16をご参照ください)。

成績評価について

●評価について

履修した授業科目は、授業担当教員が成績評価（素点）を行った後、所属大学の成績評価方法に基づき、単位が付与されます。

●各科目の評価方法

各科目授業担当教員の成績評価方法は、以下のとおりです。

科目名	科目提供大学	成績評価方法
関門の自然環境とそのエネルギー	九州共立大学	授業への参加意欲：40% 課題レポート等の提出物：60%
北九州・下関地域の魅力ある企業団体を学ぶ	北九州市立大学	企業団体見学：80%（質疑応答と小レポート） オンデマンド課題：10% 最終レポート：10%
関門地域論	下関市立大学	平常点：20%（プレゼンや討論の進め方） レポート：80%（テーマに関するレポート）
課題解決演習 ～デザイン思考による課題解決～	西日本工業大学	講義への参加やグループワークなどへの取組み姿勢（50%）、プレゼンテーション（50%）
地域課題研究	九州国際大学	課題（20点）、講義での発表（20点）、成果物の内容（20点）、講義への参加と、グループワークなどに主体的な取り組む姿勢（40点）によって、総合的に評価する。
経営入門	北九州市立大学	(a) 学生-社長トーク：30%（準備課題提出、当日参加、振り返りレポート提出） (b) 企業滞在取材：30%（当日参加 10%、取材メモと振り返りレポート提出 20%） (c) 検討成果発表：20%（発表資料作成 15%、発表会でのQ&A 5%） (d) 総合学習レポート：20%（レポート作成提出 20%） *遅刻・欠席した場合は、1コマ当たり1/15の成績を総得点から差し引く。

※試験やレポート提出は科目提供大学の規則によって行います。試験欠席による追試験は実施されません。万が一、所属大学の試験等と日程が重複した場合は、必ず事前に所属大学担当窓口にご相談し、指示を受けてください（原則として、所属大学の試験が優先となります）。

問い合わせ先一覧

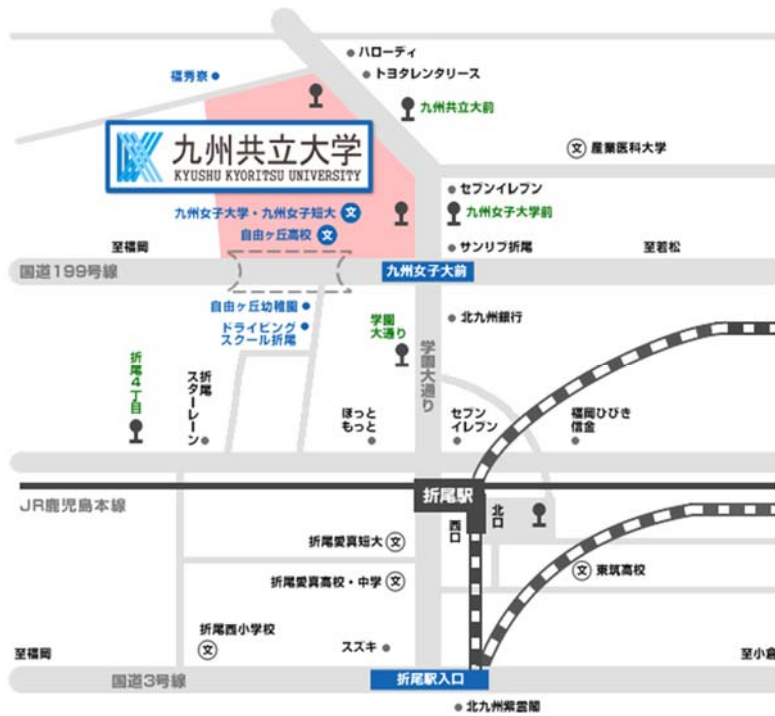
【大学コンソーシアム関門事務局、単位互換協定参加大学】

大学名等	事務担当窓口	担当窓口連絡先
大学コンソーシアム関門事務局	北九州市立大学	093-964-4106 conso@kitakyu-u.ac.jp
北九州市立大学	学術振興課	093-964-4106 conso@kitakyu-u.ac.jp
九州共立大学	教務課	093-693-3073 kyoumu@kyukyo-u.ac.jp
九州国際大学	学務事務室	093-671-9010 gakumu@office.kiu.ac.jp
下関市立大学	学務部教務課	083-252-0289 kyomu@shimonoseki-cu.ac.jp
西日本工業大学	デザイン学部事務室	093-563-2221 kyoumu@nishitech.ac.jp

※受講上の不明な点がある場合は、まず所属大学の担当窓口にご相談してください。

講義会場へのアクセス

- 【A. 九州共立大学】 JR 折尾駅よりバス7分、徒歩15分
〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8 Tel : 093-693-3073



- 【B. 集合場所：JR 小倉駅北口】
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1丁目1-1

- 【C. 下関市立大学】 JR 下関駅よりバス25分、山の田または大学町2丁目バス停下車、徒歩3分
JR 幡生駅より徒歩20分
〒751-8510 山口県下関市大学町2丁目1番1号 Tel : 083-252-0289



【D. 西日本工業大学 小倉キャンパス】 JR 西小倉駅より徒歩 5 分
 〒803-8787 北九州市小倉北区室町 1-2-11 TEL : 093-563-2221



【E. 九州国際大学 地域連携センターサテライトキャンパス】コムシティ内
 JR 黒崎駅より徒歩 1 分
 〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 TEL : 093-631-2203



【F. 北九州市立大学 ひびきのキャンパス】 JR 折尾駅より 20 分
 学研都市ひびきの下車 徒歩約 2 分
 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1 TEL : 093-695-3330



講義概要

科目名	関門の自然環境とそのエネルギー		
担当者名	小島 浩幸		
履修条件	1年生以上	単位数	2単位
期間	2023年8月19日(土)～8月23日(水) 10:40～16:10(2時限～4時限) ※8月20日(日)も実施		
講義会場	九州共立大学 深耕館 2階 S教室		
科目提供大学	九州共立大学		
授業のねらい・テーマ	21世紀は人類にとって、環境・エネルギー問題が大きなテーマです。身近な関門海峡を取り巻く地域の自然環境やその特徴を知り、自然保護・自然災害・自然エネルギーを学ぶことで、様々な環境やエネルギーに関する知識を深めるとともに生きる力を養うことができます。講義全体のキーワードは、自然環境・自然保護・自然災害・自然エネルギーです。		
テキスト	各担当教員による資料配付		
参考文献	必要に応じて、担当教員が授業中に紹介		
授業内容またはスケジュール	1回	関門地域の自然環境と古環境 ～関門海峡はどのようにできたのだろう	
	2回	関門地域の環境保全 ～真に豊かな、心地よい社会を築こう	
	3回	関門海峡とその周辺の潮流 ～潮流はどのように起こるのだろう	
	4回	関門海峡とその周辺の海岸 ～いろいろな海岸とその自然特性	
	5回	関門地域における海岸侵食と飛砂問題	
	6回	関門海峡とその周辺の干潟海岸 ～貴重な干潟海岸とその自然環境	
	7回	関門海峡に存在する波 ～いろいろな波の中で怖い波は何だろう(その1)	
	8回	関門海峡に存在する波 ～いろいろな波の中で怖い波は何だろう(その2)	
	9回	関門地域の自然災害～津波から身を守るためには	
	10回	自然災害の概要と被害状況(防災と減災) ～備えあれば憂いなし	
	11回	関門海峡近隣の港 ～北九州港と下関港を見てみよう	
	12回	地球温暖化による関門地域への影響 ～その1	
	13回	地球温暖化による関門地域への影響 ～その2	
	14回	関門地域の自然エネルギー ～波力発電, 潮流発電, 洋上風力発電	
	15回	関門地域の洋上風力発電 ～北九州市の取り組み	
授業に対する準備事項	<ul style="list-style-type: none"> ・配布した資料をよく見ておくこと ・新聞やテレビで知った地域や環境の情報を思い出して授業に臨めば興味が湧きます 		
成績評価の方法	授業への参加意欲: 40%、課題レポート等の提出物: 60%		
履修上の注意			

科 目 名	北九州・下関地域の魅力ある企業団体を学ぶ				
担 当 者 名	見館 好隆（北九州市立大学地域戦略研究所教授）				
履 修 条 件	1～3年生 ※23名を上限とする	単位数	2単位		
期 間	2023年8月21日（月）～24日（木）				
講 義 会 場	各企業団体の会議室など。バスを使って移動します。集合場所：小倉駅北口（予定）				
科目提供大学	北九州市立大学				
授 業 の ね ら い ・ テ ー マ	<p>【企業団体見学】北九州市や下関市の各施設および、日本を代表する企業の工場や職場を見学しながら、現場の専門家から事業や仕事内容はもちろん、近年重視されているSDGsや働き方改革を軸に、コロナ禍など未曾有の出来事にも屈しない日本における将来への持続的な企業団体の在り方を理解し、将来の進路のヒントを得ます。</p> <p>【オンデマンド課題】企業団体研究の手法をオンデマンドの講義で学び、期限までに興味がある企業（見学先以外）を探し、研究成果をレポートにまとめていただきます。</p> <p>【過去実績】（2021年度）コロナ禍のためオンライン開催。 シャボン玉石けん、不動産中央情報センター、ヨシダ、林兼産業、日本生命保険、ハローデ イ、ナフコ、福岡ひびき信用金庫、田村ビルズ、タカギ、タカミヤ、サンキュードラッグ （2022年度）桑の実工房、ヒューム、タカギ、ひびき精機、フジコー、中川食品、不二貿易、井筒屋</p>				
テ キ ス ト	特になし。企業団体ごとに資料が配布されます。				
参 考 文 献	特にありませんが、講義時に質問ができるように、事前に企業団体のwebサイトを読み込んで予め質問を用意してください。企業見学先は決まり次第掲示板にて告知します。				
授 業 内 容 ま た は ス ケ ジ ュ ー ル	日程	時間	概要	内容	場所
	8/21 （月）	0.5	ガイダンス	授業の目的、評価方法など	バスの中
		2.0	見学と講義①	現場だからこそ学べる団体の魅力、	企業・工場・施設①
		2.0	見学と講義②	SDGsの取り組みを理解する。	企業・工場・施設②
		1.0	振り返り	1日目の振り返り	バスの中
	8/22 （火）	2.0	見学と講義③	現場だからこそ学べる団体の魅力、	企業・工場・施設③
		2.0	見学と講義④	SDGsの取り組みを理解する。	企業・工場・施設④
		1.0	振り返り	2日目の振り返り	バスの中
	8/23 （水）	2.0	見学と講義⑤	現場だからこそ学べる団体の魅力、	企業・工場・施設⑤
		2.0	見学と講義⑥	SDGsの取り組みを理解する。	企業・工場・施設⑥
		1.0	振り返り	3日目の振り返り	バスの中
	8/24 （木）	2.0	見学と講義⑦	現場だからこそ学べる団体の魅力、	企業・工場・施設⑦
		2.0	見学と講義⑧	SDGsの取り組みを理解する。	企業・工場・施設⑧
1.0		振り返り	4日目の振り返り	バスの中	
	随時	1.5	企業団体研究	企業団体研究のノウハウを学ぶ。	オンデマンド動画
授 業 に 対 す る 準 備 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ● バス1台の乗車人数が上限で、新型コロナウイルス感染防止を踏まえて、25名（引率者含む）が定員となり、履修者23名を予定（変更する可能性あり）。 ● 履修確定後の欠席は、参加を希望していたが定員を超えたために参加できなかった学生にとって不利益であり、さらに学びの機会をお作り頂いた企業に対しても大変失礼な行為となります。よって、やむを得ない理由（体調不良や忌引きなど）を除き、受講を取りやめることはしないでください。しっかりと受講する意思を持つ学生のみ、申請してください。また、バスで移動するため遅刻による途中参加も原則不可能です。 ● 服装はカジュアルでも構いませんが、受入先企業団体のみなさんは言うまでもなく仕事です。よって、Tシャツや短パン、ビーチサンダル、穴の開いたジーパンなど、礼節を欠いた服装で社内に入ることはできません。クールビズが基本となります。また、見学先によっては別途服装の指定があります。 ● 授業前日までに、学研災保険のAコース（賠償責任保険）に加入していただきます。 ● バスでの移動がありますので、バスが苦手な人は履修しないでください。 ● 企業見学時に質問ができるかが評価ポイントの一つです。予習してきてください。 				
成 績 評 価 の 方 法	企業団体見学80%（質疑応答と小レポート）、オンデマンド課題10%、最終レポート10%				
履 修 上 の 注 意	新型コロナウイルス等により、企業団体への訪問が不可能になった場合は、Zoomを用いたリアルタイム、もしくはオンデマンドでの授業となりますので、予めご了承ください。				

科 目	関門地域論		
担 当 者 名	砂原 雅夫		
履 修 条 件	1年以上	単位数	2単位
期 間	2023年9月4日(月)～9月8日(金) 10:40～16:20(各2時限～4時限)		
講 義 会 場	下関市立大学		
科目提供大学	下関市立大学		
授業のねらい・テーマ	<p>【概要】 下関市と北九州市を中心とする関門地域は、関門海峡という自然の境界をかかえ、中国地方と九州地方のブロック界、県境、市境を越えながらも日常生活、経済活動において一体となっている特異な地域のひとつである。授業では関門地域の概要、都市圏の発展形成過程、特長を説明するとともに今日における課題を説明する。 関門地域についての理解を深めたのち、学生自らがこの地域を形成する下関市、北九州市それぞれの特性を把握し、その特性を生かしながら、関門地域の発展のためにどのような連携が考えられるか議論していきたい。なお、議論においては可能な範囲でデータを収集し、数値を用いていきたい。 また、生活経済圏と行政界の違いによる課題及びその解決手段を議論する。</p> <p>【到達目標】 1 関門地域の概要・歴史・都市構造・課題が理解できる。特に関門地域の2つの市の都市機能が相互に影響しあっていることを理解できる。 2 下関市・北九州市の特性を把握できる。 3 県境・市境を越えた関門地域の2つの市の連携方策について学生自らテーマを発見し、両市の特性を生かしてデータを活用しながら提案できる。 4 行政圏と生活経済圏の不一致による課題について認識できる。</p>		
テキスト	教科書：特になし		
参 考 文 献	・海峡大観 中野金次郎・著 北九州市港湾局(1995年) ・北九州市成立過程の研究 徳本正彦・著 九州大学出版会(1991年)		
授業内容またはスケジュール	1回 ガイダンス：関門地域の姿を知る。(自然、経済・社会・文化・人々の暮らし) ※特に、関門地域で初めて生活する学生のために 2回 関門地域地図散策：関門地域の地図を読み解きながら地域の地理や産業を学ぶ。 3回 関門地域の歴史概要①：古代律令時代から中世までの関門地域を知る。(軍事拠点と貿易基地としての関門) 4回 関門地域の歴史概要②：江戸時代から明治時代までの関門地域の都市の形成を知る。(下関・門司・小倉を中心に) 5回 関門地域における大都市形成論議：明治時代から北九州市成立までの関門海峡をはさんだ関門6市の合併構想について知る。 6回 関門地区の交通・通信：関門地区の交通の発達と現状、商業放送の特殊な成立からなる関門地域の情報の流れについて知る。 7回 都市経済：関門地域の連携方策を提言するにあたり、都市の経済構造について経済学の観点から概観する。 8回 大都市圏行政の仕組みについて：県境を越えたこれからの大都市圏制度について知る。 9回 関門地域両市の連携方策①：連携方策について収集資料、データに基づき提言をとりまとめる。 10回 関門地域両市の連携方策②：連携方策について他者に伝えるためのプレゼンの準備を行う。 11回 関門地域両市の連携方策③：連携方策についてプレゼンを行い、意見交換を行う。 12回 関門地域の連携の実際と課題：関門地域の両市の連携の実際と地域経済・市民生活に及ぼす効果について知る。		

	13回 海峡都市の実際： 関門地域と類似した海外の事例、イスタンブール（トルコ）について学ぶ。
	14回 行政圏と生活経済圏の相違について：行政圏と生活経済圏の相違に伴う課題について関門地域以外の事例も含めて考察する。 (大牟田・荒尾地区、三遠南信地区など)
	15回 まとめ：関門地域の今後の展望について
授業に対する準備事項	【事前・事後学習】Google Map等で事前に関門地域（下関市・北九州市）の地図に目を通し、おおまかに地理感覚を掴んでおくこと。また、明治時代以降を中心に日本の歴史を概観しておくこと。 下関市、北九州市のホームページを通じて主な施策を把握しておくこと。
成績評価の方法	平常点 20% プレゼンや討論の進め方 レポート 80% テーマに関するレポート
履修上の注意	新型コロナウイルス感染拡大等により、対面での授業実施が難しい場合は Zoom を利用した遠隔授業として行います。

科目名	課題解決演習～デザイン思考による課題解決～		
担当者名	梶谷克彦（西日本工業大学デザイン学部教授）		
履修条件	1年以上	単位数	2単位
期間	2023年8月17日（木）～8月20日（日） 10:40～17:50（2時限～5時限）		
講義会場	西日本工業大学 小倉キャンパス 6階 602教室 および 地域連携センター		
科目提供大学	西日本工業大学		
授業のねらい・テーマ	<p>複雑な要因が絡み合う課題解決のスキルを、デザイン思考を通して学ぶ短期集中型の演習。</p> <p>デザイン思考の実践的スキルの養成を通じて、洞察力、課題解決能力、ディスカッション力の習得を目指すことに重点を置く。</p> <p>課題解決手法の基礎的な知識習得と演習を行う PBL 形式の演習。</p> <p>成果目標として、北九州のまちづくりに関するプラン制作を行う。</p> <p>なお、当演習は、グラフィックデザインや映像制作などの「デザインスキル」は問わない。</p>		
テキスト	教科書は使用せず、適宜資料を配布する。		
参考文献	特になし（別途指示する場合がある）		
授業内容またはスケジュール	<p>1 回ビジョンの共有化（チームビルディング）</p> <p>2 回基礎講座 1 問題解決の基礎講座</p> <p>3 回基礎演習 1 簡易的な問題解決演習</p> <p>4 回基礎講座 2 デザイン思考のステップに関する基礎講座</p> <p>5 回基礎演習 2 簡易的な問題解決演習</p> <p>6 回課題レクチャー</p> <p>7 回フィールドワーク準備</p> <p>8 回フィールドワーク 1 北九州の街でフィールドワークの実施を行う。</p> <p>9 回フィールドワーク 2 北九州の街でフィールドワークの実施を行う。</p> <p>10 回フィールドワークのまとめと洞察 分析と洞察</p> <p>11 回アイデアプランディスカッション</p> <p>12 回試作品制作・テスト 1</p> <p>13 回試作品制作・テスト 2</p> <p>14 回プレゼンテーション（チームごとのプレゼンテーション）</p> <p>15 回プレゼンテーションと振り返り</p>		
授業に対する準備事項	動きやすい服装で参加すること。		
成績評価の方法	講義への参加やグループワークなどへの取り組み姿勢（50%）、プレゼンテーション（50%）		
履修上の注意	この授業は対面授業で実施する。		

科 目 名	地域課題研究		
担 当 者 名	藤 野 博 行 (法学部准教授)		
履 修 条 件	1年～3年	単位数	2単位
期 間	9月2日(土)、9月4日(月)、9月5日(火)、10月7日(土)、10月14日(土)		
講 義 会 場	九州国際大学地域連携センター サテライトキャンパス、黒崎商店街その他		
科目提供大学	九州国際大学		
授業のねらい・テーマ	<p>【ねらい】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 商店街で子供向けのイベントについて企画・広報・運営を行うことを通して、課題解決力や実行力を涵養するとともに、地域への愛着を持ち、地域のリーダーを担う人材を育成する。 2 大学・学年・性別などの異なるメンバーとさまざまな経験を積むことにより、主体性と協働力を涵養する。 <p>【テーマ】</p> <p>商店街に関する様々な知識を体験を通して学んだ上で、黒崎商店街において子供向けのイベント(謎解きイベントを予定)を企画・実施する。</p>		
テ キ ス ト	資料を配布する。		
参 考 文 献	適宜提示する。		
授業内容またはスケジュール	<p>注意1: 本科目は科目特性上、履修者は20名を上限とする。履修者が上限を超えた場合、選考の参考とするため、事前に下記URLまたはQRシートからエントリーシートを提出すること。</p> <p>https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=P7ugqdEoJkiBaa_zbXe3W0gtxypugBHiuGjJL4dQaBUM1NBQVZY0E1S0U9QSjJBT1c0VjZXMkxXWi4u</p> <p>注意2: 他のコンソーシアム科目を履修する場合、日程が重複する可能性がある。他の科目を履修する場合は十分に注意すること。</p> <p>注意3: 各講義日の開始時間・講義場所については履修者確定後に所属大学経由で連絡をする。</p> <p>9月2日(土)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス、アイスブレイク ② 企画立案 <p>9月4日(月)</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 企画立案 ④ 企画立案 ⑤ 企画立案 <p>9月5日(火)</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 企画立案 ⑦ 企画立案 ⑧ 企画立案 <p>10月7日(土)</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑨ 実施準備 ⑩ 実施準備 ⑪ 実施準備 <p>10月14日(土)</p>		



	<p>⑫ イベント実施</p> <p>⑬ イベント実施</p> <p>⑭ イベント実施</p> <p>⑮ イベント実施</p>
授業に対する準備事項	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街に関する様々な問題について、書籍や雑誌、インターネットなどの情報をくまなく当たり、自分なりに考えをまとめておく。 ・履修ガイダンスや各種事前指導に出席する。 ・講義日の予定は確実に空けておく。 ・体調を崩さないよう自己管理をする。
成績評価の方法	<p>課題 (20 点)、講義での発表 (20 点)、成果物の内容 (20 点)、講義への参加と、グループワークなどに主体的な取り組む姿勢 (40 点) によって、総合的に評価する。</p>
履修上の注意	<p>この講義は、対面による授業を実施します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により対面での実施が困難な場合は、ZOOMを使用します。また、イベントが開催できない可能性もあります。</p>

科目名	経営入門		
担当者名	辻井 洋行(北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室 教授)		
履修条件	2年生以上3年生以下	単位数	2 単位
期間	2023年8月28日(月)から9月1日(金)までの5日間 1限 9:00~10:30, 2限 10:40~12:10, 3限 13:00~14:30, 4限 14:40~16:10, 5限 16:20~17:50		
講義会場	北九州市立大学ひびきのキャンパス (所在地:若松区ひびきの1-1)		
科目提供大学	北九州市立大学		
授業のねらい・テーマ	<p>この授業において、受講生は、企業経営者が提示する経営課題への解決策の検討・提案を通じて、経営の難しさや醍醐味を学び取る。企業活動における課題解決は、アイデアを持ち寄り、融合させ、新しい価値を生み出すものであり、アントレプレナーシップ(起業家精神)を発揮する機会である。受講生は、経営者との対話、課題解決の仮説設定、企業への訪問取材、関連文献の検索、提案書のまとめと発表を行う過程で、発想力・創造力、問題発見と解決、情報収集&分析・チームワーク、リーダーシップ&フォロワーシップ、コミュニケーション能力を発揮する。また、実際の企業経営に関わる課題の解決提案に取り組む中で、企業の成り立ち、現在の取り組み、将来への方向性、働く方々の思いに触れる機会を得る。</p> <p>学習項目</p> <p>(a)企業ウェブサイトを目を通し、経営者への事前質問を提出する。また、必要な予習課題に取り組む。</p> <p>(b)経営者との対話から、検討する課題を聞き取り、解決に向けたアイデアを仮説として整理する。</p> <p>(c)企業の現場へ取材に出かけ、アイデア仮説を検証するためのヒアリング調査や必要な文献調査を行う。</p> <p>(d)ヒアリング調査の結果を踏まえ、経営者から提示された課題への解決策を提案し、経営者の評価を得る。</p> <p>(e)学習成果を振り返り、企業経営の醍醐味や難しさ、社会の一員としてのアントレプレナーシップの必要性について文書に整理する。</p>		
テキスト	配布資料による。		
参考文献	配布資料による。		
授業内容またはスケジュール	<p>第1回(1日目・3限)オリエンテーション</p> <p>第2回(1日目・4限)学生-社長トーク(1)</p> <p>第3回(1日目・5限)学生-社長トーク(2)</p> <p>第4回(2日目・3限)チームビルディング</p> <p>第5回(2日目・4限)取材準備(1)課題解決アイデア出し</p> <p>第6回(2日目・5限)取材準備(2)アイデアの有効性を説明するための事前調査</p> <p>第7回(3日目・1限)企業訪問取材(1)会社見学、経営者から提示された課題に対する解決提案の共有</p> <p>第8回(3日目・2限)企業訪問取材(2)解決提案の有効性・実施可能性を確認するための社員ヒアリング</p> <p>第9回(3日目・3限)企業訪問取材(3) 解決提案の有効性・実施可能性を確認するための社員ヒアリング(継続)</p> <p>第10回(3日目・4限)企業訪問取材(4) 経営者との解決提案の方向性共有</p> <p>第11回(4日目・3限)解決提案の準備(1)取材成果の共有、解決策の方法・内容の検討</p> <p>第12回(4日目・4限)解決提案の準備(2) 解決策の方法・内容の検討</p> <p>第13回(4日目・5限)解決提案の準備(3) 課題解決策プレゼンテーションの準備</p> <p>第14回(5日目・3限)発表会 課題解決策プレゼンテーション</p> <p>第15回(5日目・4限)振り返り 課題解決の検討取り組みを踏まえた自身のアントレプレナーシップへの気付き</p>		
授業に対する準備事項	<p>(a)ご登壇頂く社長の企業や関連する産業分野について調べ、質問を用意し事前に提出する。社長からの質問への回答を作る。</p> <p>(b)取材の事前準備と事後の取材成果共有、発表会準備のために、時間外での自主活動が必要になる。</p> <p>(c)授業にご協力頂く北九州革新的価値創造研究会について、確認しておくこと。 <http://www.ksrp.or.jp/katiken/></p>		
成績評価の方法	<p>(a)学生-社長トーク 30%(準備課題提出、当日参加、振り返りレポート提出)</p> <p>(b)企業滞在取材 30%(当日参加 10%、取材メモと振り返りレポート提出 20%)</p> <p>(c)検討成果発表 20%(発表資料作成 15%、発表会でのQ&A 5%)</p> <p>(d)総合学習レポート 20%(レポート作成提出 20%)</p> <p>*遅刻・欠席した場合は、1コマ当たり1/15の成績を総得点から差し引く。</p>		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">•履修申請時に、履修希望理由書(MS-Word形式・200文字以上)を各所属大学の履修申請窓口に提出すること。記述内容は、「科目学習内容への興味関心と受講動機について」。•授業日程(予定):2023年8月28日から9月1日まで•訪問取材受入先企業の都合で、受講者数の上限が48名であるため、受講者数調整を行うことがある。•科目履修には、学研賠・学研災への加入が必須になる。•授業実施会場と企業滞在取材への参加には、各自移動の交通費(各自支出)が必要になる。 大学からの交通費補助はない。
--------	---

休講の取り扱いについて

1 気象警報発令時の取り扱い

悪天候などの自然災害により、北九州・下関地方に「大雨、暴風警報」、「大雪警報」「暴風雪警報」等が発令された場合は、原則として、授業の扱いは次のとおりとする。

警報解除時刻	授業の取り扱い
午前7時までに解除されない場合 ※	午前の授業を休講とする
午前10時までに解除されない場合 ※	午後の授業を休講とする

※ ただし、警報が解除されない場合であっても、天候状況および公共交通機関の運行状況によっては休講とならない場合があるため、留意すること。

※ 警報の発令・解除に関する確認は、ラジオ・テレビ等の報道による。

2 交通手段の遮断時の取り扱い

地震等の自然災害や公共交通機関におけるストライキ等の理由により、交通手段が遮断されたために学生が授業に欠席した場合、学生の届出により、科目提供大学はその学生が通学不能であったと判断した場合には、本人の不利益にならないように配慮する。

3 その他の取り扱い

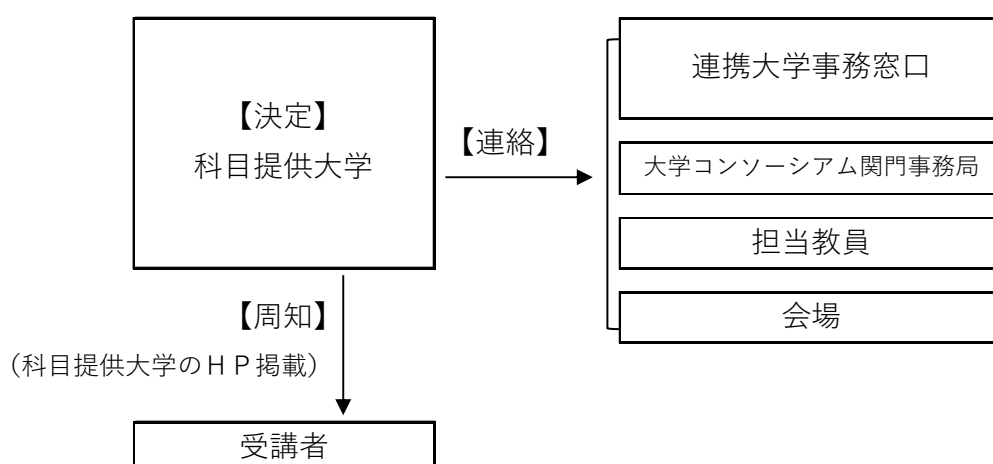
次の場合、休講とする。

- (1) 授業科目担当教員にやむを得ない理由が生じ、授業が行えない場合
- (2) 授業開始時刻から30分を経過しても授業科目担当教員より指示がなく授業を開始できない場合
- (3) その他、大学コンソーシアム関門事務局において休講が必要と判断した場合

4 休講措置の周知方法

科目提供大学のホームページにより周知する。

5 休講措置決定から周知までのプロセス



大学コンソーシアム関門

